

お近くの子育て支援センターにご相談ください

# 子育てママを応援します



初めての子育てには、心配や不安がつきもの。  
1人で考え込むと、とっても大変です。  
子育てをしている仲間がたくさんいるはずですよ。  
子供と一緒に遊んで、おしゃべりするだけで、  
きっと明るくなりますよ。  
そんな楽しい交流の場をご紹介します。



広報市民リポーター だより  
リポーター 金谷 忠法さん  
NO. 2  
(扇田中町)

子育ては、24時間営業の  
大仕事です

最近では、核家族化が進み、子供が少なくなつたため、近所に一緒に遊ぶ子供がいらないということも珍しくありません。そのため、日中は子供と2人きりであるお母さんやおばあちゃんも多いと聞きます。「目の中に入れても痛く無い」お子さんやお孫さんでも、24時間一緒にいると、どちらにも大変なストレスがたまってしまいます。

## 子育て支援メニューをご紹介します

私も1年前に子供が生まれ、1児の親になりました。子供のかわいさを実感するとともに、妻と二人三脚(とは言っても、圧倒的に妻が主役)で初めての育児に追われる毎日です。

今年になって妻が、「近所に誘われて、「わいわいキッズ」という育児交流会に参加するようになりまして。たくさん仲間と楽しい時間を過ごして帰ってくると、母子ともにリフレッシュできるようです。

市内には、子育ての仲間が集まる場所が、ほかにもあるようです。子育てが少しでも楽しくなるような、子育て支援のメニューをリポートします。

最初に訪問したのは、  
わいわいキッズ

この日の会場は大葛保育所でした。4人の子供たちが待つている大葛保育所にたくさんのお母さんが訪れました。

いつもは広い大葛保育所も、この日はかなり大変な混雑ぶり。小さい子も大きい子も入り交じって、ワイワイガヤガヤ、大変なにぎやかさです。

それでもこの日は会場が遠いためか、参加者はいつもより少ない35組ほど。体操やおやつタイムを終えて、子供たちが入り乱れて遊ぶ中で、お母さんたちはニコニコおしゃべりしています。参加している皆さんからお話を伺いました。

### 乳井 千晶さん(扇田中町)

参加者で組織する「わいわいウーマン」の代表者。

#### Q参加のきっかけは?

最初は、お友だちに誘われて参加しました。市外から嫁いで来るお母さんが多いので、誰かに誘ってもらって参加する人が多いようです。

#### Q周囲に、なかなか外に出て来ないお母さんはいますか?

結構います。知ってはいなくても参加しないので、人付き合いが苦手なのかもしれません。参加すると気が楽になると思うんですけどね。